

# 2025年2月14日（金）第4回学校運営協議会 議事録

令和6年度 第4回「SAGA コラボレーション・スクール」

学校運営協議会（学校魅力強化委員会）

令和7年2月14日（金）15:00-17:00

## 参加者

<学校運営協議会（学校魅力強化委員会）委員>

### 企画運営部会

川島委員、生駒委員、早川委員

### 地域協働部会

原委員、徳川委員、松田委員、山下委員、徳留委員、真木委員

<校内委員>

岡本校長、中西教頭、田島教諭、山口崇教諭、末松教諭、檜崎教諭、下田教諭、森山教諭

## 挨拶

中西教頭：第4回学校運営協議会を始めさせていただきます。前半は私が、休憩をはさんで後半は川島さんにお任せいたします。

岡本校長： 今年度もあとひと月半。来年度に向けた忙しい時期にご参加いただき感謝申し上げます。学校評価を含めて年間の総まとめとしてお話をさせていただきます。県の普通科改革の研究指定校として二年目を迎えます。年度の初めにすべきところを申し訳ありません。先日の中間報告会での報告内容を委員の皆様にお伝えさせていただきます。

## 普通科改革について（岡本校長）

10月に来校された岡田選手の写真を表紙に使用しました。モザイクアートは二年生が作成し、現在佐賀県ヨットハーバーに飾られています。

探究活動が多様な進路へつながる、ということで、二年次から2つのコースに分かれて、多様な進路に対応していくという形をとっています。コースの分け方についての質問が多いのですが、探究活動をする中でのつながり先でコースを分けています。

なぜ普通科改革がスタートしたか、というと、2021年度から大学入試が改革されて、AO入試が総合型選抜に、推薦入試が学校推薦型選抜に変わりました。共通テストでは読解力がより求められるな

ど、入試の内容が変わってきています。本校は9割以上が進学を希望しているため、推薦入試への取り組みにも力を入れています。年内に進路決定を希望する生徒も多く、のべ140名が総合型、学校推薦型選抜を受験しました。一般入試を含めて、時期をずらして3つの形式の試験があり、探究を強みに受験の機会を広げようというのが普通科改革のねらいでもあります。

三年間の流れとしては、1年時の目標はテーマを決めてることで、フィールドワークなどを通してやりたいことや向いていることはどんなことかを考えていきます。2年時はグループを作って探究活動を実際に進めていきます。3年時は個人に戻って、入試の準備を進めていきます。一般入試にも対応できるカリキュラムの中で、探究活動をする時間を授業時間として設定しています。

それに伴う改革を行いました。

- ・校務分掌の再編（探究支援部の設置）
- ・校時・下校時間の変更 ※下校時間を早めて生徒が自由に使える時間を増やしました。
- ・ボランティア部の活動見直し ※ボランティア部の活動内容が大きくなりすぎたため、ボランティア部の活動を見直して、探究活動の方に移行していくように検討しています。
- ・特別選抜募集枠の変更 ※特色ある教育課程推進指定校の枠で16名合格者を出しました。
- ・学校運営協議会の設置（令和4年度～） ※今年度は委員15名で、年に4回の実施。

文理を分けずにコースごとにクラスを編成しています。そのため、来年度の授業展開は難しいところもあり、クラス単位の授業、文理で分かれる授業などを考慮して時間割を作ります。

コース分けの例。ゲンコウを使った化粧品

**地域探究進学コース**：化粧品で地域活性化（市役所等との連携）

**学際探究進学コース**：化粧品の有用性（大学等研究機関との連携）

このように、どんなアプローチで、誰と連携するのかで、テーマに応じてコース分けをしました。

1年生の今年度の取り組みの流れは別紙資料をご参照ください。発表などの経験活動を重視し、今月25日にも発表会を予定しています。また、今後引き継いでほしいテーマもあります。

学際は72名、地域が84名。理系が85名、文系が71名。ちょうど2クラスずつになりました。

今後の課題としては、新しいコース制の内容が中学校教職員、中学生及び保護者に十分に理解されていないことがあげられます。

教職員の指導に対する不安（≠不満）の高まりをなくすこと。

学力向上にどうつなげていくか、教科指導の再考が必要です。基礎学力につけることは今後も続けていきます。探究活動で高まった意欲を学習活動につなげていくことが大切だと思っています。

「この学校を中学生におすすめできる」、「この学校に入ってよかったと思う」の項目で上昇が見ら

れる。

今後の取り組みとしては、来年度からグループでの活動が始まるので、職員の配置やつながり先をどう作るか、を考えています。

来年度の2月中旬に成果発表会を開催予定です。

### 令和6年度学校評価 最終評価について（中西教頭）

中西教頭：普通科改革について学校長より報告をしました。この後は教頭、田島、山口の順に報告をさせていただきます。時間がない分につきましてはお手元の資料でご確認をお願いします。

中西教頭：資料3～11ページ

5～7ページ：アンケートを取りました。左から肯定的な回答となっています。

3～4ページ

- ・2番のスクール・ミッションについて：4番の4つの重点目標をたてました。5番の学力向上の初めの2つは、授業の満足度は生徒保護者ともに高く、ICT利用も良かったですが、相互授業参観が不十分なためBです。
- ・進路実現については保護者の肯定的な割合が高く、今日現在のべ人数で国公立大学合格者10名、私立大学合格者50名です。
- ・心の教育については、目標の数値と実際の結果を鑑みて、良い結果となりました。図書館の利用については、昨年よりも貸し出し数が減少したものの、閉館日数が多かったことに起因していると思われます。来場者数は昨年度比約130%となっているため、Aとしました。
- ・いじめの早期発見については、ささいな報告でも覚知をしたため、覚知数が多くなっています。12件のうち11件が解消、1件は今月まで見守りです。
- ・将来の夢や希望を持つ生徒の割合については90%には満たなかったが、学年主任を中心にClassi等で進路情報を頻繁に発信しているのでAです。
- ・健康・体づくりの面では、朝食を摂って登校している生徒が9割いること、教職員の定期健診後の受診率も上昇し、交通マナーを守る生徒もほぼ100%なので、Aとなっています。
- ・部活動を通して主体性や自己管理能力が身についた生徒は91.5%なので、Aとなっています。
- ・働き方改革については、国スポで年休が取りづらい中、昨年度よりも年休取得率が高まりました。時間外も減少しました。ただし、定時退勤日の徹底が足りなかったので、Bになりました。
- ・健康診断受診率は100%、再検査受診率は、声かけを行った結果、昨年度と比べて上昇しました。
- ・特別支援に関する専門性が向上した教職員の割合は68.2%なのでBとなっています。
- ・みなさんのご協力のおかげで学校運営協議会4回実施ができました。委員のみなさんには総合的な探究の時

間のアドバイス等も行っていただきました。また、生徒が中学生に本校をおすすめする生徒の割合も増加しました。そのため、Aとなりました。

・学校外の人に話を聞きに行った生徒の割合は増加したものの、目標の70%には届きませんでした。ただ、外部コンテスト等への応募・参加が多くあり、佐賀県ふるさと学習コンクールでは最優秀賞と優秀賞を受賞したため、Aとなっています。

・ボランティア参加者の大幅な増加が見られました。ボランティア部の活動を一部全校生徒対象にしたことによる起因と考えられます。しかし、新コースについて理解している保護者は7割程度にとどまり、今後の一般入試では定員割れの可能性もあるため、周知について工夫が必要と考えられるので、Bとしました。

8ページ

唐津西高校のよい点やおすすめできることについて、自由記述をすべて載せています。

探究に関する内容、ボランティアに関する内容、校時等に関する内容、進路に関する内容、先生方の指導に関する内容、学校行事・部活動に関する内容、その他の内容

※最も多くの生徒がおすすめのポイントとしていたのは、改修されたトイレでした。

#### 高校魅力化アンケート（田島教諭）

網掛けは本年度の結果で、その右側が全国平均とその比較です。

＜全学年のアンケート結果について＞

双松の力については、すべての項目について、全国平均と比べて高い結果となりました。特に地域に関する項目が高く、社会性が高いという結果でした。（32.は21.6%、61.は23.8%）

下の別枠の2項目は全国平均よりも下回りましたが、昨年度よりは上昇しました。

今年度の探究の授業で地域の人と関わる機会も多く、地域に関心を持ち、地域の課題を身近なものとして考えるようになったようです。経年変化も上向きでした。

＜1年生のアンケート結果について＞

1学年の結果は全体的に上昇傾向にあり、5項目で全国平均より10%上回っていました。特に主体性に関する項目が高かったです。下の2つは全国平均より低かったです。

年度内の変化（網掛け部分）では、16項目中12項目で上昇が見られました。13.生徒同士の振り返りでは17%を超える上昇でした。対話を重視した活動を多く取り入れました。話し合いや、その中でグループとしての意見をまとめる力がつきました。コミュニケーション能力など、非認知能力の向上につながりました。課題の2つの項目でも5%ほど改善しました。特にウェルビーイングについては、個人と組織のウェルビーイング（幸福度）を上げたいと考えています。生徒にやらせるのではなく、生徒が楽しく活動できるようにして、ウェルビーイングを高めていきたいと考えています。社会性が上がれば学力が上がる、というスタンフォード大学の見解があるので、探究活動が学力や進路実現に波及するようにしていきたいです。

中西教頭：90近くの項目があり、主体性や社会性の項目が多く、特に本校では社会性の項目での向上が見られました。グラデュエーションポリシーを見るために、双松の力という形でまとめました。

#### SCS活動実績について（山口教諭）

(12ページ) 毎月行っている虹の松原などの清掃活動は挙げずに、2年生が参加した外部の探究活動等を中心に1枚の資料にまとめました。雪のため、徳留先生の講演が3月中旬に延期されています。その他、細かい内容は資料をご覧ください。

(13ページ)

佐賀コラボレーションハイスクールの指定校の取り組みをまとめた冊子が作成されています。あとでご高覧ください。

中西教頭：学校魅力化ガイドブックで検索していただくと、カラーでご覧いただけます。

#### 学校評価についての質疑応答

中西教頭：3、4ページの学校関係者評価の部分について、ご意見・ご質問・評価を頂けますでしょうか。感想でも結構です。

Aさん：全国平均と言っていたアンケートは全国で同じ項目でアンケートをされているんですか。

中西教頭：全国で約300校、約11万人を対象に同じ項目でアンケートが行われています。

Aさん：学生にどうアンケートを答えさせるかが難しいところです。例えば、シラバス通りに授業をしても、その項目でアンケート100%にはならないんです。学生にアンケートを答えさせるのは難しいところがあります。10%だと40人ほど学校をおすすめできない生徒がいることになります。個別に聞くこともできないので学校もご苦労されていると推察します。

中西教頭：おすすめしたいかどうかは必ず聞かなければならない項目ですが、どんな中学生に対しておすすめなのか、等、不明瞭なところもあるようです。

Aさん：似たような項目が多くある所は改善点ですが、先生も一生懸命やられていて、生徒も楽しく活動しているのに、結果がよくないのは不思議です。質問項目には工夫が必要なようですね。

Bさん：地域貢献の評価がBになっているのはなぜですか。

中西教頭：広報活動という点では体験入学の人数が減って、進路希望調査での志願者数が少ないと加えて、新コースの周知状況を鑑みて、Bとしました。（学校内外の広報活動と魅力の周知の点で。）

Bさん：一般選抜の志願者数が出るのはいつですか？

岡本校長：来週です。志願変更もできるため、それが分かるのはさらに次の週です。

中西教頭：特別選抜では倍率が 2.12 倍と県内二位ですが、一般選抜の倍率は不安があります。

B さん：一般選抜の志願状況で魅力が伝わったかが分かると思います。唐津市内の普通校で志願者数に昨年度の影響が出ているようです。その影響もあると考えて、前半は評価できると思うので、B は厳しいのではありませんか？

岡本校長：中学生を対象とした話はできていますが、先生方対象に話をする場は少なく、先生方に周知できていない状況です。先生方対象の入試説明会もあります、まだまだ伝わっていない印象があるので、もっと行かなくてはいけないということもあり、B にしました。糸島高校も唐津市内で先生方対象に説明に来られています。

C さん：探究活動を学力偏差値につなげたい、という話があったのですが、さきほどの偏差値は総合偏差値なので、歴史を探究する生徒なら歴史の偏差値で見る等、都合の良い数値で見る等、特定の科目で見ても良いのではないかでしょうか？探究活動が学習全体への意欲を高めることもあるでしょうが、探究活動に関する教科に関して偏差値を見るのも良いと思います。その学生がどう変わったか、等を見てはどうでしょうか。

岡本校長：ありがとうございます。良い所だけをうまく使うようにするのも一つの方法ですね。

E さん：自主的な取り組みやチームワークができるようになってきている印象があります。厳密なパーセンテージでなくても良いので、伸びを教えてもらえますか？

山口：比較は難しいですが、マイテーマを決めてグループテーマを決める中で、唐津は海が近いので、海の環境やごみをテーマにしている生徒が多いです。1月 26 日の九大のフィールドワークに環境がテーマでない子も含めて 20 名程度の生徒が参加し、海洋環境のシンポジウムにも積極的な参加が見られました。1年間見ていて、様々な活動に積極的に参加する生徒が多く、外部の大人と連携して、つながりづくりができているようです。

E さん：学習意欲につながっているということですか？

山口：進研模試の結果につながっているかどうかについては難しいですが、積極的に活動をしようとする等の行動の変容は感じます。それも主体性という意味での学力の一つなので、そういう所は出てきています。

E さん：私が感じていることと同じで安心しました。

岡本校長：にこにこして楽しく参加できている様子が見られます。

A さん：大学でも、学力が云々ではなく、活動することによって人として成長するということが見られます。生徒の皆さんも、こういう活動することによって力がついているはずです。

Cさん：行動の変容が大事で、未知なるものに出会った時の対応や行動が変わってくるのではないかと思われます。アンケートは100問答えてるんですね？90問を超えると回答が適当になってくることがあるので、独自のアンケートをされていいのではないでしょうか？他の学校との比較はできないかもしれません、そうしたものの方が行動の変容をとらえるのには有用だと思います。

Aさん：薬学の試験はCBTアンケートもランダムで出てきて隣の人と違う順番で答えるなど、も良いかもしれません。

Fさん：西高のアルバイトをする生徒の割合はどれくらいですか？

中西教頭：経済的な理由で行っている生徒が数人。進学先が決まった3年生が一部アルバイトをしています。

Fさん：喫茶店でアルバイトをする高校生もいますが、唐津西高校は少ないんですね。

岡本校長：基本的には社会的経験を積ませることも大事という意見もありますが、学業という面を最優先しているので、本校では原則禁止していて、三年生の最終登校日以降は保護者の同意のもと、許可を出しています。実業高校の特色として推奨されている学校もあるようですが。

Dさん：中学生におすすめしたいか、について。トイレがおすすめと言っている生徒さんが多いです。高校生が中学生に話す時には他の高校と比べてどうか、という話をすることが多いです。西高は校則が厳しくて、アルバイトは原則禁止となっています。自由性をどこまで認めるか、地域と関わる中で考えていいければ良いのではないでしょうか。

Gさん：さきほど会議の前に2年生との個人面談をしてきました。変わる時の直前の学年は、1つ下の学年の取り組みと比べているところがあるようです。12ページを見て、2年生は今どんな感じなのかが気になります。志望理由については、理系の子は書いていて、探究のテーマも持ちやすいようですが、文系は曖昧なようで、本日の面談も全員文系の生徒でした。

中西教頭：1年生は色々やっていてうらやましいと感じているところもあるようですね。

Gさん：若干そのようなところもあるようです。

## 協議事項に関する熟議： 議題「唐津西高探究プラットフォーム・リストづくりについて」

B さん：探究の授業を進めていくにあたってのプラットフォーム・リスト作りということで、原さんお願ひします。

D さん：高校生を受け入れる仕組みづくりをしようということで、まつら同窓会長さんの同意を得て進めいくことになりました。

14 ページ

探究サポーター登録の依頼文書で、10 個の項目と関わり方、登録方法（15 ページ）や期間を示しています。長々とならないように、こまめにアップデートしていく予定です。

案1：探究活動を進めるうえでの重要な項目を挙げています。17 ページのチラシが、実際に渡していく内容になります。登録期間は年度更新。2025 年度は5月31 日まで募集をして、その後はその都度対応予定です。活動内容は3つ。サポーターのメリットも挙げています。若者との関わりの中から気づきを得る、HP 等での紹介で名前が出る、社会貢献活動ができる等です。

注意事項はトラブルを避けるために挙げています。

登録をしても生徒の関心次第では協働できない可能性があることや、生徒は迷惑をかける可能性もあるため、学校への苦情を言うのではなく、その場で叱り、一緒に育てるという姿勢を持っていただきたい、ということ、情報発信の際には個人情報に配慮すること、ご質問やご意見は学校へ連絡すること等です。

（別紙資料2について）

注意事項を書いていても、トラブルは起きることがあるため、オープンチャットを利用して個人同士の連絡をしないようにする等、工夫をしていますが、生徒と直接連絡を取らないことや個人情報の取り扱いに注意することなどの規約を設けてはどうか考えています。具体的には案2をご覧ください。

規約に追加した項目がいくつかあります。今まで高校生との関りが少なかった方たちが、どのようなスタンスで関わればよいか、という点を示せるようにしました。特に第7条のところに記載しています。

山口：この場で実際にQRで読み込んでいただいて、登録の内容をご確認のうえ、ご意見をいただければ助かります。

D さん：注意事項の厳しさについてのご意見をいただければ嬉しいです。ここで承認をいただければこの趣旨に同意いただいた方を集めることになります。メリットとしては、報告会への招待もあります。登録いただいた方からのフィードバックも受けて、年々少しずつアップデートしたいと考えています。

A さん：探究サポーターは基本的には何でもいいんですか？

D さん：はい、なんでも。そこに制限はかけられないですよね。

A さん：実験などで高校生の過失で何かが壊れた場合が問題になりそうです。大学生なら保険が適応されるのですが。

岡本校長：PTA 関連の保険に入っているので、それで対応できる可能性もあります。

A さん：学内は良いですが、学外はダメ等がありますよね。適応の範囲や金額等を確認いただければ、記載の必要まではないと思います。

E さん：事前にレクチャーはされますか？

D さん：はい。内容や問題について話そうと思っています。

岡本校長：学校として説明会を行います。

E さん：まずそこで整理をされて、参加するかしないか、ということですね。

中西教頭：学校の思いを伝えたうえで、登録をされるかどうかご判断いただければ、と考えています。登録したのに連絡がこないところにも、中間発表会等の案内をして、ご参加していただきたいと思います。

E さん：登録者以外の人につなぐのはありますか？

D さん：登録が原則です。期間を区切っているのは煩雑さを避けるためであって、有力な方がいらっしゃれば、登録の輪を広げたいです。

H さん：同窓会の後によびかけてもよいかもしれません。

D さん：途中入られる方を否定するものではありません。ルールに沿わない方は入っていただかないようにして、細かいトラブル（高校生が挨拶をしない等）はあると思いますが、そこも含めてまずは始めてみるしかないかと思います。

E さん：推薦人をつけるのも手ではないでしょうか。

H さん：西高卒業生を中心に求めるのではなかったですか？

D さん：広くオープンに募集します。

中西教頭：同窓会でも話をします。探究サポーターだけでなく、学校からも生徒への指導をしていきます。

岡本校長：基本的にはグループでの活動です。

E さん：基本的な指導が必要だと思います。

D さん：サポーターとの関わり方（活動時間の制限等）も示していければ。

I 委員：どのくらいの規模を想定していますか？規模は示さないんですか？

D さん：スマートスタートで30～50集まれば。

田島：いろいろな分野が集まればよいのですが。

中西教頭：1年生が40グループくらいできるだろうから、50前後あればよいと思います。その方から広がっていって、協力者が増えていけば。

H さん：生徒が連絡をする際にはどこから行うんですか？

田島：探究部と連携するので、担当の先生がサポートします。生徒が直接電話やメールをする予定ではあります。

H さん：生徒が個人の電話やメールを使うのですか？その時点でオープンチャットを使用すればよいのではないかですか？

D さん：オープンチャットでは個人同士の連絡は取れません。全体に見えている場でしかやり取りができないので。

B さん：連絡の方法は別途連絡すればよいのではないでしょうか？プラットフォームから連絡が来るのは私のところなので、実際に生徒に紹介してつなげる時にオープンチャットで連絡を取るようにすれば。

D さん：はじめに広げすぎて失敗して今後の参加者が減るのも考え方なので。

B さん：これまで探究を支援してくださった方々の例を示すと、理解がしやすいのでは。

J さん：高校生をイベントに動員できるとか勘違いする方もいるかもしれません。

A さん：高校生はこの取り組みのことを知っているんですか？

大人は盛り上がってるけど、高校生は冷めているとなると悲しいです。小規模で始めて口コミで広がっていくのが良いと思います。30も結構な数ですが、集まるんでしょうか。

Dさん：すでに10数あります。

中西教頭：地域のことを知らない生徒は自分たちでは課題が探せなかったり、指導する職員もリストがあれば安心して指導できたりするかと思います。

Eさん：生徒のリクエストを反映させるとよいのではないでしょうか。

Cさん：生徒がどう使うんでしょうか？生徒が検索するのか、先生がどこかをすすめるのか？

Dさん：どちらかというと後者と思っています。

田島：つながり先ありきでテーマを考えるのではなく、まずやりたいテーマを考えてほしいですが、やり方はまだ検討中です。

Bさん：協議事項として決をとりますか？

中西教頭：ご意見をいただいた分をもとに、さらに詰めていきます。

時間超過して申し訳ありません。ご意見はメール等でもよいでお寄せください。

<連絡>

岡本校長：2点

- ① SCSの研究指定は今年で3年間、いったん終了。来年度からはエリアモデル校に内定しています。委員の選定もありますので、引き続きお願いをさせていただきたいです。3月にご連絡をさせていただきますが、人事異動等で難しい場合は早めに教えていただくと助かります。
- ② 卒業式・入学式のご案内については、在校生が入る関係でスペースが無いため、今年度は案内を控えさせていただきます。文化祭・体育祭はご案内しますので、お時間があればぜひご来校ください。

<その他>

田島：2月25日に1年生が発表会の予定です。今回はグループごとにテーマを考えて、来年につなげていく予

定です。10 グループに分かれてテーマを発表して、アドバイスをいただくようにしています。今回は教室等を使用します。

山口：報告会の時間帯の変更について、15 時でなく、13 時に開始になりました。この中にもご参加していただく委員さんもいらっしゃいますが、お時間のご都合がつけば、ぜひご参観ください。

D さん：3 月実施予定の街中文化祭のテーマはコスメです。大学生が高校生向けにコスメ指導をします。高校生と校長先生とのコスメについての対談も予定中です。